

事前評価調書

I 事業概要																																																					
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																																				
地区名	一般県道 ^{いちのみやきよす} 一宮清須線																																																				
事業箇所	いなざわしいのぐちおおつぼちよう 稲沢市井之口大坪町																																																				
事業のあらまし	<p>一般県道^{いちのみやきよすせん}一宮清須線は、清須市と一宮市西部を結ぶ路線であり、一般国道 155 号と一般国道 302 号を結ぶ幹線道路で交通量が多く、自転車及び歩行者の通行も多い路線である。</p> <p>当該交差点は右折帯がなく、右折待ち車両が直進車両の進行を阻害することにより渋滞が発生し、交通に支障が出ている他、交通死傷事故の発生も多く、地元等より改善が求められている。</p> <p>これらのことから、本事業は交差点改良により、交通円滑化及び交通事故の削減を図るものである。</p>																																																				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通円滑化</p> <p>②交通事故の削減</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																				
事業費	事業費		内訳																																																		
	2.5 億円	■工事費 1.0 億円、■用補費 1.2 億円、■その他 0.3 億円																																																			
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2024 年度	完成予定年度	2027 年度																																															
事業内容	交差点改良 延長 L=0.25km、幅員 11.0m																																																				
II 評価																																																					
①事業の必要性	1) 必要性	<p>・当該交差点には、右折車線がないため、右折時の事故が多く発生している。加えて、当該交差点は周辺小学校の通学路に指定されており、児童が朝夕に通学することからも、交差点改良（右折車線設置）による安全性の確保が求められている。</p>																																																			
	判定	A	<p>A: 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B: 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>・交通量の増加や通学路に指定されていることから、安全性確保の必要性がある。</p>																																																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">2.1</td> <td colspan="3">0.4</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table>							2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種 区分	調査・設計	←→							0.3	用地補償		←				→		1.2	工事				←			→	1.0	事業費（億円）		2.1			0.4			2.5
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																											
工種 区分	調査・設計	←→							0.3																																												
	用地補償		←				→		1.2																																												
	工事				←			→	1.0																																												
事業費（億円）		2.1			0.4			2.5																																													
2) 地元の合意形成	<p>・地元から強い要望があり、事業の実施について地元の合意形成がなされている。</p>																																																				
判定	A	<p>A: 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B: 事業計画の実効性が期待できない。</p>																																																			

	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な事業執行体制が整っており、事業計画の実効性が高いため。
<p>Ⅲ 対応方針</p>	
<p>事業実施が 妥当である</p>	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所における交通円滑化の状況（渋滞長及び滞留長の変化） ・事業実施前後の死傷事故件数及び死傷事故率の変化 	